
MerryChristmas・・・

来実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

M e r r y C h r i s t m a s …

【Nコード】

N 1 7 3 2 I

【作者名】

来実

【あらすじ】

コナンと蘭の、静かで柔らかなクリスマスの夜です。

今日はクリスマス。
博士の家で、少年探偵団と蘭たちでクリスマスパーティーをしていたのだ。

『またね！コナン君、蘭お姉さん！』
『また明日なー』

あいさつを交わし、博士の家をでた。

しんしんと雪が降って
外は銀世界のようにだった。
途中、新一の家の前を通る。蘭が、ふと立ちどまった。

『雪、綺麗ねコナン君』

『ほんとだね、蘭姉ちゃん』

『見たかったな、新一と。この雪景色…』

『蘭姉ちゃん…』

『何してるんだろうね。クリスマスくらい、帰ってきたらいいのに。』

』

そう言ってコナンに笑いかける。

『私がずっと待ってるって、あいつちゃんとわかってるのかなあ？』

『……………』

『私がどんな想いで待ち続けてるか、わかってるのかな…』

『……………っ』

コナンは、蘭を抱きしめたい衝動に駆られるのを、ぐっところえる。

今の自分には、そんな資格はないのだ…と。

『…ごめんね。こんな事、コナン君に言っても仕方ないのにね。』

蘭は辛そうな顔で笑う。

『…蘭姉ちゃん…』

『…なんで蘭姉ちゃんが謝るの？悪いのは、蘭姉ちゃんを待たせてる新一兄ちゃんだよ！』

『…そうね。でも、わかってるから、責められないわ。あいつも、好きで帰ってこないんじゃ、ないもんね』

『蘭姉ちゃん…』

『…わかってるのに、期待しちゃうんだ…。クリスマスくらい、私のとこに、来てくれないかなって。』

『……。』

『…馬鹿よね、私…』

蘭の瞳から、すーっと涙が流れた。そして、その場にしゃがみ込ん

でしよう。

『蘭姉ちゃ…』

ふわっ

『…ごめんコナン君。しばらく…このままでいて?』

コナンは蘭に抱きしめられていた。自分の肩には、涙を流す愛しい彼女。

『…限界、か』

『…ばーろ。お前は馬鹿なんかじゃねーよ』

『…え…?』

顔をあげた蘭の前には、眼鏡をはずして不敵な笑みをたたえた少年。

そう。彼と同じ表情をした、小さな少年――

『Merry Christmas。蘭』

F
i
n.

（後書き）

この後コナンが、正体を明かすのか、はたまたいつものように『新一ちゃんならきつとこう言うよ!』と言うかは、皆様にお任せします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1732i/>

MerryChristmas…

2010年10月28日05時21分発行